

事業所名

放課後等デイサービス ほっとハウスばうむ

支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

24 日

法人（事業所）理念	<p>特定非営利活動法人ほっとハウスやすらぎ理念 「創る」・「繋ぐ」・「紡ぐ」 ・障がいのある方も、私たち職員も、家族も、それぞれが新しい自分を「創る」事をめざす ・これまでと今、これからを「繋ぐ」ことをめざす ・心と心を「紡ぐ」ことをめざす</p>													
支援方針	<p>○平日の活動○ ・法人の理念である創る、繋ぐ、紡ぐのもと、事業所として一人一人の発達の状況をとらえ、子どもの成長や発達を促すサービスを提供していきます。 ・関係者、他関係機関との連携を図りながらより良い支援を行います。 ・季節の行事を取り込み、楽しみながら活動出来るよう支援します。</p> <p>○土曜日・長期休業中○ ・法人の理念である創る、繋ぐ、紡ぐのもと、事業所として一人一人の発達の状況をとらえ、子どもの成長や発達を促すサービスを提供していきます。基本的な生活習慣、生活リズムの定着を目指し、健康で自立した過ごし方ができるよう支援します。 ・子どもの興味関心に沿って多様な体験や課外活動を行い、楽しみながら活動できるようにします。 ・外出する機会や公共施設の活用、法人内での体験活動を通し、地域との交流する機会を設けられるよう支援します。 ・関係者、他関係機関との連携を図りながらより良い支援を行います。 ・季節の行事を取り込み、楽しみながら活動出来るよう支援します。</p>													
営業時間	平日	10 時	30 分	から	19 時	00 分	まで	土曜日 休校日 長期休暇	9 時	30 分	から	18 時	30 分	まで
送迎実施の有無	あり	なし												
支援内容														
健康・生活	<p>○健康状態の把握 ・健康な心と体を育て自ら健康で安全な生活を作り出せるよう支援する。また、健康状態の常なるチェック（連絡帳や体温測定による把握）と必要な対応を行う。意思表示が困難である子どもについては、発達段階や障害の特性などに配慮し、小さなサインから心身の変化に気づけるよう、きめ細かな観察を行う。利用中に体調の変化がある場合には、適切な対応（医療機関への受診、保護者への状況の報告等）を確実に実施する。</p> <p>○生活リズムや生活習慣の形成 ・日中活動を提供することで、睡眠、食事、排泄等の基本的な生活のリズムが整えられるよう支援する。また、長期休業中等は、昼食の時間やクッキング活動等を利用し、食育を実践する。食育の実践に際しては、病気の予防や安全への配慮も十分に行う。</p> <p>○基本的な生活スキルの獲得 ・身の回りを清潔にし、食事、衣類の着脱、排泄等の生活に必要な基本的スキルを獲得できるように支援する。必要に応じて視覚情報（イラストなど）を提示し、一对一での対応をする。</p> <p>○構造化等による生活環境の形成 ・生活の中で、さまざまな遊びを通して学習できるような環境を整える。また、障がい特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく構造化する。</p> <p>○当事業所でのプログラム○ ・健康状態の確認 ・日中活動の提供、時間に応じた行動の切り替え ・調理活動や昼食の時間での食育の実施 ・トイレや着替えなどの生活場面を通じた課題の提供 ・構造化を意識した掲示物</p>													
運動・感覚	<p>○運動・動作の基本的技能の向上 ・粗大運動や微細運動を取り入れた運動を通し、一人一人の特性に合わせて身体の発達を促すように支援していく。なお、長期休業中等の際には、地域の環境資源として公園や体育館等を積極的に活用する。</p> <p>○保有する感覚の活用 ・子どもの発達段階や障がい特性に配慮し、視覚、聴覚、触覚などの感覚を活用した遊びを通して支援する。また、制作活動や動きをまねて音楽に合わせて体を動かすような運動を取り入れながら支援する。</p> <p>○感覚の特性（感覚の過敏や鈍麻）への対応 ・感覚や認知の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の提案及び支援をしていく。</p> <p>○当事業所でのプログラム○ ・体操、ダンス、スポーツなどの運動を意識した活動 ・視覚や聴覚、触覚などの五感を用いた活動 ・感覚過敏な児童に配慮した環境設定</p>													
本人支援 認知・行動	<p>○形や色、大小、数などに対する概念の形成 ・課題や遊びを通して、形や色の弁別、大小、数などに対し概念の形成に繋げるよう支援する。</p> <p>○曜日や時間、季節などに対する概念の形成 ・日付や曜日などスケジュールを視覚化し確認することで、見通しを持った行動や活動が出来るよう支援する。また、課外活動や創作活動を通して、季節や時間の流れを感じる事が出来るよう支援する。</p> <p>○集団活動での適切な行動の習得 ・活動や遊びの中で、待つ、順番に行う、交代するなどの場面も取り入れ、集団での活動の流れが認知出来るよう支援する。</p> <p>○行動障がいへの事前の働きかけと対応 ・感覚やコミュニケーションの困難性から生ずる行動障害に対して、事前に環境調整など予防策の提案及び支援する。</p> <p>○認知の偏りの対応 ・一人一人の子どもに対して、環境調整や支援者の関わり方について質の向上を図る。また、保護者に対しても認知の偏り等の個々の特性に関する情報を伝え、こだわりや偏食等に対する家庭での具体的な支援を提案する。</p> <p>○当事業所でのプログラム○ ・課題や遊び、集団での活動を通した様々な概念の形成 ・日付、時間、スケジュールの可視化 ・季節を意識した創作活動 ・行動障害のある児童・生徒に配慮した環境設定 ・こだわりのある児童・生徒に配慮した環境設定</p>													
言語 コミュニケーション	<p>○言語の形成（言語の理解と表出の支援） ・一人一人の子どもを適切に評価し、発達段階や障がい特性に合わせ、言葉の理解、表出に繋がるよう支援する。また、必要に応じて専門職によるプログラムを立案し機能訓練を実施する。</p> <p>○コミュニケーション手段の選択と活用 ・子どもの発達段階や障がい特性に応じたコミュニケーション手段（音声、文字、身振り、サイン等）を活用し、環境の理解と意思の表出ができるよう支援をする。</p> <p>○人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得 ・話し言葉や各種文字・記号、身振り、サインなど様々な人との相互作用を通して、共同注視や表現方法の獲得など、コミュニケーション能力の向上が図れるよう支援する。</p> <p>○読み書き能力の向上のための支援 ・障がいの特性に応じた読み書き能力の向上のための支援を行う。</p> <p>○当事業所でのプログラム○ ・言葉の理解・表出に繋がるサービスの提供 ・遊びや集団活動の場でのやり取りを意識したサービスの提供 ・文字、身振り、サインなど様々なコミュニケーション手段の活用 ・描線などのプリントを用いた課題の提供 ・専門職による機能訓練</p>													

	人間関係 社会性	<p>○集団への参加の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達段階や特性に応じた環境整備に努め、子ども自らが自発的に遊びや集団活動に参加できるよう支援していく。 <p>○他者との関わりとソーシャルスキルの形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団での活動を通し、人との関わり方や他者と接する際のルール、感情のコントロールの方法などを学び、安定して他者との関わりが出来るよう支援する。また、長期休暇中は、外出する機会を設け、外出時のルールや買い物の仕方なども学べるよう支援する。 <p>○ひとり遊びから協同遊びへの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に応じて、ひとり遊びの状態から協同遊びへとスモールステップでの遊びの育ちを促し社会性の発達を支援する。 <p>○自己の行動の理解と調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の行動の振り返りや望ましい行動など、対面学習や体験から学べるよう支援する。 <p>○当事業所でのプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊びや活動を通した集団への参加 ・自由遊びや場面を設定した集団でのルールの形成 ・課外活動や買い物体験 ・対面学習や体験での振り返り 			
	家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所や送迎時のお子さんの様子を共有する。 ・子どもの発達上の課題の気づきを促し、家庭と連携して支援を行う。 ・「ぼうむ通信」を通した子どもの活動の様子を発信していく。 ・ご希望に応じて相談の場を設け、保護者様の心配や不安の軽減に繋がるよう支援を行う。 ・関係者、他関係機関との連携をはかり、支援体制を構築する。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・移行を想定した子どもの評価を行い、保護者に対しても確認や情報共有をしていく。 ・関係者、他関連機関との連携をはかり、支援体制を構築する。 ・法人内での連携も強化し、児童のライフステージに合わせた支援をする。 	
	地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の公共施設を利用し、地域資源を活用する。 ・課外活動や公共施設の活用を通し、地域との交流する機会を提供する。 ・法人内での連携も強化し、様々な障がいや年代の方との体験活動を実施する。 ・関係者、他関連機関との連携をはかり、支援体制を構築する。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・法人や事業所等で研修会を実施し、従業員の資質の向上を図る。 ・外部研修に積極的に参加をし、学んだ内容の周知を行う。 ・定期的なミーティングや法人全体での職員会議を実施し、情報の共有を行う。 	
	主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練 ・季節に合わせた活動(こどもの日、七夕、ハロウィン、クリスマス会、節分、だんごさしなど) ・外部講師によるラテンパーカッション(1回/月) ・体験活動(買い物体験、調理体験など) ・課外活動(自然探索、施設見学、法人内での交流など) 			